



地域日本語支援ニュース こだま 第264号

2014.10.23



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■活動紹介■

楽しい教室「日本語おたすけたい」 青木 由紀子

2■お知らせ■

進学進路ガイダンス情報

高校進学説明会情報 *更新情報はありません。

=====

1■活動紹介■

楽しい教室「日本語おたすけたい」

青木 由紀子

東京都中央区にある日本語ボランティア教室「日本語おたすけたい」は、2009年1月に誕生して今年で6年になります。活動歴3年の青木由紀子さんに教室の様子を紹介していただきました。

-----☆☆☆☆☆☆☆☆

◆東京・日本橋のボランティア教室◆

「日本語おたすけたい」は主に中央区在住・在勤の外国人を対象とした日本語ボランティア教室です。活動場所は日本橋小学校等複合施設 7～9 階の日本橋社会教育会館で、学習者は学生の方よりも日本で仕事をされている方、主婦の方が多くいらっしゃいます。仕事をされている方の中には、意外と職場で日本語を話す機会がない、日本に友達がいない、などの悩みを抱えている方も少

なくありません。学習者一人ひとりによって勉強の目的・目標も様々です。「日本語おたすけたい」では、学習者の希望を聞いて楽しく勉強ができるよう工夫をしています。

◆楽しく学習する工夫さまざま◆

具体的には、学習者の多くは話す力を伸ばしたいので、授業はなるべく会話中心を心がけています。そしてたくさん会話練習ができるよう、できるだけ 1 対 1 で授業を進めています。また 15 分間のティータイムでは、他の学習者さんやボランティアさんと日本語で気軽にしゃべりする機会を設けています。節分・ひなまつり・七夕・お月見などの時期には、その季節の和菓子を用意することで、日本の行事を知ってもらうきっかけを作っています。他にも年に 1 度は和室で茶道体験を実施したり、去年は料理教室を借りてお味噌汁や簡単な日本食を作ってみたり……、実際の体験学習も取り入れています。

◆支援者は臨機応変◆

「日本語おたすけたい」はビジネスマンの学習者が多いせいか、以前から『学習者が定着しない』という問題がありました。これは仕事が忙しくなって来られない場合やもともと短期滞在の場合などもあるので仕方がないのですが、教える側は大変です。毎回担当する学習者が変わるようでは何を準備したら良いのか分かりません。そこで教室では初級・初中級・中上級・上級とレベルを大きく 4 つに分け、担当をそれぞれ割り振りました。また、学習者ともメールで連絡を取り合うことにより、当日の出欠席をボランティアが事前に把握できるようになりました。学習者の入れ替わりが避けられない中で、私たちボランティアも臨機応変に対応できるようになることが今後の課題となります。

◆いろいろな国・人・文化に触れて◆

私は 3 年間のボランティアで色々な国の方たちとお話しをすることができました。日本に居ながら、彼らと知り合えたのはまさに「日本語おたすけたい」のお陰です。日本語学習を通して外国の方の考えや文化に触れることはとても楽しいことです。これからも一期一会を大切に、日本語を教えていきたいと思っています。
